

第28回日本がん分子標的治療学会学術集会

フラッシュトーク発表順

発表順	演題番号	氏名	所属	演題名
1	P1-1	倉橋 祐樹	佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座	成人T細胞白血病/リンパ腫に対するDNA脱メチル化薬とHDAC阻害薬の併用による抗腫瘍効果
2	P1-2	菅山 紗也佳	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科	DNAメチル化酵素阻害剤の処理はVAMP5の発現上昇を介して血管形態形成を抑制する
3	P1-3	池田 一貴	東京工業大学 生命理工学院 健康医療科学分野	Eph receptor A2(EphA2)のプロセッシングが肝がん細胞の悪性化に及ぼす影響の解明
4	P1-4	渡邊 史織	早稲田大学 先進理工学研究科 生命医学専攻	抗がん化合物 Lonidamine の標的因子の探索
5	P1-5	横山 隆志	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 生化学講座第2教室	TGF- β /Smad3 はALDH1の発現誘導によりdoxorubicin耐性とがん幹細胞性を亢進する
6	P1-6	入間田 早瑛	東京理科大学薬学部	HBV PreS1と細胞側受容体NTCPの結合を標的とする中分子阻害剤スクリーニング
7	P2-3	中野 なおこ	昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室	腸特異的Smad4 遺伝子欠損マウスにおけるWnt/b-catenin非依存性腺がん発症機序の解明
8	P3-1	白濱 仁深	公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部	メラノーマにおけるstearoyl-CoA desaturaseの密度依存的な誘導によるフェロトーシス耐性
9	P3-5	笠原 和	早稲田大学 大学院先進理工学研究科 細胞情報学分野	高感度プロモータートラップ法による細胞周期相特異的に応答するレポーター細胞の作製と解析
10	P3-6	上田 陽子	岐阜大・医・産科婦人科	子宮頸がん細胞におけるArtesunate誘導性フェロトーシスのヘム依存的増感
11	P4-3	山田 麻奈未	大阪大学薬学部	RNA 脱メチル化酵素 ALKBH3 の酵素活性阻害化合物による膵がん治療創薬
12	P5-2	長屋 直哉	順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学	前立腺癌の転移におけるCXCR3の役割：リンパ節転移への影響
13	P5-4	高木 英美理	大塚製薬株式会社 大阪創薬研究センター 先端創薬研究所	がんエネルギー代謝に基づく悪性リンパ腫の併用療法 ～ミトコンドリアの酸化的リン酸化を標的とした新規抗腫瘍薬OPB-111077～
14	P5-7	神島 泰樹	KKR北陸病院	FGF-KRASシグナルを介したDouble Negative CRPC (DNPC) の進展機構
15	P5-8	土井 雄太	早稲田大学 先進理工学研究科 生命医学専攻	骨転移、脳転移性ALK陽性肺がん細胞株を用いたシグナル解析
16	P6-1	飯塚 ひより	東京都立大学 都市環境科学研究科 環境応用化学域	エピジェネティクス改変によって老化誘導したがん細胞由来細胞外小胞の抗腫瘍効果
17	P6-4	村上 大徳	広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野	低酸素環境下がん細胞に対するラクトフェリン作用の分子機構
18	P7-1	岩田 まみ	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科	微生物由来天然化合物phepropeptin Dは核膜タンパク質ラミンAのプロセッシングに影響を与える
19	P7-2	藤田 陽	横浜市立大学 生命医学研究科	<i>In silico</i> 手法を利用したPPI阻害ペプチドの開発
20	P7-4	朱 耘浩	長浜バイオ大学 大学院 バイオサイエンス研究科	試験管内人工進化で得た20Sプロテアソームに対する親和性アミノ酸配列による基質タンパク質の分解促進効果
21	P7-5	佐藤 圭恭	岩手大院・総合科学	がん細胞に中心体クラスタリング阻害活性を示すkolavenic acid analogのキナーゼ阻害と構造活性相関
22	P7-8	磯山 翔	公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部	shRNAスクリーニングによる滑膜肉腫のPI3K阻害剤感受性規定因子探索
23	P8-3	吉野 雄大	富士フイルム株式会社 バイオ材及びiPS細胞応用研究所	HDAC阻害剤バノピノスタットのリボソーム化による急性骨髄性白血病 (AML) 治療への応用
24	P8-4	山本 凌大	岐阜薬科大学 薬学部 薬学科	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)のためのカルボラン含有アミノ酸誘導体の腫瘍標的化
25	P8-5	武藤 大将	千葉大学大学院 医学薬学府	NCYMはヒト胆管癌においてオートファジーの活性化を介して腫瘍形成を促進する
26	P8-6	梅垣 翔	宮城県立がんセンター 腫瘍内科	放射線感受性を示したCDKN1Bのナンセンス変異を伴うアポクリン癌の一例
27	P8-7	小林 裕章	防衛医科大学校病院泌尿器科学講座	日本人の稀少前立腺導管癌におけるp53免疫染色による遺伝子変異予測能の検討
28	P9-4	田中 智大	東北大・院医・抗体創薬	膵がんを標的としたがん特異的抗ポドカリキシン抗体の開発
29	P9-5	三浦 一輝	東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所	リガンド連結型近赤外有機増感剤を活用したがん分子標的型光線力学療法
30	P9-6	中島 孝平	北海道大学 大学院薬学研究院	固相法による211At-MABGの標識合成および α 線による免疫原性細胞死に関する検討
31	P10-2	白石 明梨	公益財団法人がん研・治療セ・基礎研究部	PIK3CA/PTEN 二重変異がもたらすEGFR及びALK陽性肺がんのTKI抵抗性と克服法探索
32	P10-5	中村 彩音	がん研・治療セ・分子生物治療	腫瘍内細胞間シグナル相互作用を介した胃がん化学療法抵抗性persister細胞の残存機序の解析